

10 月 9 日 年間第 28 主日

いつも感謝しなさい

ルカによる福音書 17 章 11 ~ 19 節

¹¹ イエスはエルサレムへ上る途中、サマリアとガリラヤの間を通られた。¹² ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え、遠くの方に立ち止まったまま、¹³ 声を張り上げて、「イエスさま、先生、どうか、わたしたちを憐れんでください」と言った。¹⁴ イエスは重い皮膚病を患っている人たちを見て、「祭司たちのところに行って、体を見せなさい」と言われた。彼らは、そこへ行く途中で清くされた。¹⁵ その中の一人は、自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来た。¹⁶ そして、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。この人はサマリア人だった。¹⁷ そこで、イエスは言われた。「清くされたのは十人ではなかったか。ほかの九人はどこにいるのか。¹⁸ この外国人のほかに、神を賛美するために戻って来た者はいないのか。」¹⁹ それから、イエスはその人に言われた。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」

他の朗読：列王記下 5：14 ~ 17 詩編 98：1 ~ 4 II テモテ 2：8 ~ 13

Lectio …読む

今日の福音朗読の中でイエスは、神の祝福に感謝することについての重要な教えを私たちに与えています。

イエスは十字架刑と復活に臨むためエルサレムへ上る途中です。ある村のはずれで遠くの方に立ち止まったまま、重い皮膚病を患っている 10 人の人がイエスに「イエスさま、先生、どうかわたしたちを憐れんでください」と声を張り上げます。(11 節)

重い皮膚病に苦しんでいる人々にとって、イエスの時代を生きることは本当に厳しいものでした。家族や友人のもとから離れ、共同体の他の人々から離れ、追放されて生きていくことを強いられました。彼らは同じ状況下にある他の人々と一緒に自活していかなければなりませんでした。

彼らは共同体の宗教的な生活から切り離され「霊的に不浄である」と考えられていました。彼らの病気は神からの罰であると信じていた人々もいました。彼らの状況はみじめなものでした。未来は暗く、希望はわずかしかなかった。普通の生活に戻る唯一の道は、皮膚病が治り、祭司がそれを証明することでした。

この人々がイエスに助けを求めて大声で叫んだのは不思議ではありません。イエスは、祭司に体を見せなさい、とだけ言いました。彼らは全員イエスの命令に従いました。そして祭司のところに行く途中で奇跡が起こります。10 人全員が癒されるのです。

このグループの中の一人は癒されたのが分かるやいなや、イエスに感謝し、神を賛美するために急いで戻って来ます。彼は戻る前に他の 9 人に話したのでしょうか。私たちには分かりません。しかし、この男がサマリア人であったことが明らかになります。

想像するに、他の 9 人は全てユダヤ人だったのでしょうか。ユダヤ人はサマリア人を見下し、彼らを異教徒と見なしていました。彼らが一番あり得ないと思っていたその人が、事実、謝意を表し、神に感謝する唯一の人なのです。

そのサマリア人へのイエスの最後の言葉は重要です。「立ち上がりなさい」にあたる言葉には複数の意味がありました。初期のキリスト者たちは、それを復活もしくは新しい生活に言及していると受け取ったのでしょうか。10 人の重い皮膚病の患者が癒されましたが、このサマリア人だけが「あなたの信仰があなたを救った」と言われるのです。おそらくイエスは肉体的な癒しと同様に霊的な癒しにも言及しているのです。

Meditatio …黙想する

この箇所は、あなたにどのように語りかけてくるでしょうか。

あなたは、なぜ 9 人がイエスに感謝するために戻らなかったと思いますか。祈りへの応えを受け取りながら、他のことをする前に神に感謝するのを忘れたことがありますか。

私たちは、神の祝福を当たり前だと思うことをどのように避ければよいのでしょうか。時として、私たちが何かをしたために神の祝福に「値する」と感じることに危険がはらんでいないでしょうか。

Oratio …祈る

神があなたに親切にしてくれたあらゆる方法について考えてみましょう。それらを書き出して、今週は毎日そのリストを最後まで読んでみましょう。神に感謝と賛美で応えましょう。週が進むにつれて、聖霊があなたにより多くのものを気づかせてくれるでしょう。あなたの生活の中で神がしてくださったことすべてに、いつも感謝するように神に助けを願いましょう。

神への賛美を表す助けとするために、今週は毎日、詩編の一つを選んでみましょう。

Contemplatio …観想する

フィリピ 4 章 4、6、7 節を考えてみましょう。

「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。…どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」